

第7回日本疲労学会総会・学術集会

1. 日 程 2011年5月21日(土)・22日(日)

2. 会 場 名古屋大学医学部 基礎棟 第3・4講義室
 〒455-8560
 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65番地
 T E L 052-741-2111 (代)

3. 会 長 伴 信太郎
 (名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻総合診療医学分野 教授)

4. 事務局 名古屋大学医学部附属病院 総合診療科
 〒455-8506
 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65番地
 TEL・FAX 052-744-2951

5. 主 催 日本疲労学会

ご挨拶

第7回日本疲労学会総会・学術集会を主催するに当たり、一言ご挨拶をさせていただきます。

この日本疲労学会は、慢性疲労症候群（Chronic Fatigue Syndrome; CFS）を研究していた人たち、産業疲労を研究していた人たち、およびスポーツ疲労を研究していた人たちが大同団結して発足させた学会です。私自身はCFSの臨床からこの世界に入ってまいりました。学会のこの経緯を考慮して、この度の学会では三つのことを考えながらプログラム編成を行いました。

第一に、この学会の出自となったこの3つの領域のバランスに配慮することを考えました。私の専門であります総合診療医学は、あらゆる健康問題を、予防・診断・治療・リハビリまでを視野に、また医療のみならず、保健、福祉・介護との連携を重視し、また個人レベルにとどまらず、家族、地域までを配慮して、身体面のみならず精神・心理面、社会的側面にも注意を向けることを旨とする臨床分野ですので、この3領域のバランスということには特に関心がありました。

第二に、名古屋の地で、名古屋大学総合診療医学教室が主催させていただきますので、その特徴も出したいと考えました。そこで、私たちが研究的面で連携してきました六反一仁教授（徳島大学）に特別講演をお願いし、精神疾患との関連をどう見立てるかについて連携をしてきた近藤三男先生（こんどうメンタルクリニック）に教育講演をお願いしました。

三つ目には、特にこの領域は企業との関係（Conflict of Interest; COI）には十分な配慮が必要であると感じてきました。また、一方では産官学の連携で大きなブレイクスルーが生み出せる可能性がある領域でもあると思います。そのバランスをどう保つかにも腐心しました。したがって、それぞれに強い思い入れのある人には不十分な感を否めないと思いますが、物事の効果的かつ効率的な実践のポイントは中庸にあるという私の考え方を反映させました。折しも日本は東日本大震災に遭遇し、このような地味な体裁は時宜にかなったものになったのではないかと思います。

「疲労」というのは、極めてありふれた愁訴であるとともに、人間のホメオスターシスの維持にとって重要な症状でもあり、誰も「疲労（感）」を経験したことがない人はいないでしょう。そのような「疲労」を夏樹静子さん（作家）と安藤明夫さん（中日新聞）をお迎えして、市民の皆様にも参加していただいて、ざっくばらんに語り合ってみようを「市民公開講座」を企画しました。どんな話の展開になるのか予想はつきませんが、学会参加者の皆さまにも多数ご参加いただきたいと思います。

総合診療医学教室の手作りで運営する学会ですので、何かとご不便をおかけすることが多いと思いますが、それでも学術的に深い、またこれからの日常生活、職場、スポーツ活動、さらには臨床に少しでも役立つ大会にしたいと全力を傾注するつもりです。奮ってご参加のほど宜しく願いいたします。

第7回 日本疲労学会総会・学術集会
会長 伴 信太郎
名古屋大学大学院医学系研究科
健康社会医学専攻総合診療医学分野 教授

第7回日本疲労学会総会・学術集会プログラム委員

- ・小林 裕幸（筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター）
- ・川原 貴（国立スポーツ科学センタースポーツ医学研究部）
- ・久保 千春（九州大学病院）
- ・倉恒 弘彦（関西福祉科学大学健康福祉学部）
- ・近藤 一博（東京慈恵会医科大学ウイルス学講座）
- ・西城 卓也（名古屋大学医学部附属病院総合診療科）
- ・城 憲秀（中部大学大学院生命健康科学研究科）
- ・伴 信太郎（名古屋大学大学院健康社会医学専攻総合診療医学分野）
- ・三池 輝久（兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター）
- ・渡辺 恭良（（独）理化学研究所分子イメージング科学研究センター）

（五十音順）

日本疲労学会役員名簿

理事長：橋本 信也 特定非営利活動法人医療教育情報センター理事長

理事：川原 貴 国立スポーツ科学センタースポーツ医学研究部長

倉恒 弘彦 関西福祉科学大学健康福祉学部健康科学科教授

久保 千春 九州大学病院長

近藤 一博 (事務局長) 東京慈恵会医科大学ウイルス学講座教授

下光 輝一 東京医科大学公衆衛生学講座主任教授

西沢 良記 大阪市立大学長

伴 信太郎 名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻総合診療医学分野教授

三池 輝久 兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター長

渡辺 恭良 独立行政法人理化学研究所分子イメージング科学研究センター長

監事：松本美富士 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム内科教授

顧問：木谷 照夫 市立堺市民病院名誉院長

山西 弘一 独立行政法人医薬基盤研究所理事長

(五十音順)

歴代学術集会・会長

第1回 橋本 信也 日本医師会・常任理事

平成17年6月4日（土）・5日（日）

第2回 西沢 良記 大阪市立大学大学院医学研究科教授

平成18年7月22日（土）・23日（日）

第3回 下光 輝一 東京医科大学公衆衛生学講座主任教授

平成19年6月30日（土）・7月1日（日）

第4回 三池 輝久 熊本大学大学院医学薬学研究部 小児発達学分野教授

平成20年2月15日（金）・16日（土）

第5回 久保 千春 九州大学病院院長

平成21年5月15日（金）・16日（土）

第6回 倉恒 弘彦 関西福祉科学大学健康福祉学部健康科学科教授

平成22年6月25日（金）・26日（土）

第7回 伴 信太郎 名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻総合診療医学分野教授

平成23年5月21日（土）・22日（日）

第7回日本疲労学会総会・学術集会参加へのご案内とお願い

I 参加費用及び学会入会について

1. 参加受付：8：00 より行います

2. 学会参加費

〈 事前登録〉

学会員6,000 円 非学会員9,000 円 学生1,000 円

〈 当日受付〉

学会員7,000 円 非学会員10,000 円 学生1,000 円（学生証をご提示ください）

3. 〈 事前登録をされた方〉

当日事前登録受付にて参加証（ネームカード）をお渡しいたします。

〈 当日受付の方〉

当日受付にて参加費と引き換えに参加証（ネームカード）をお渡しいたします。

※ 参加証にご所属と、お名前をご記入の上、必ず着用してください。参加証を着用していない方のご入場はお断り致します。この参加証により全てのプログラムに参加できます。

4. 学会誌（抄録集）会員無料（年会費に含む）非会員2,000 円

（数には限りがあります。ご了承ください。）

5. 懇親会は第1 日目5 月21 日（土）18 時30 分よりCafé Salaにて行います。

懇親会費は5,000 円（学生2,000円）です。

参加者の親睦の場として是非ご参加頂きますようお願いいたします。

6. 学会入会について

学術集会中は受付いたしません、新入会手続きのご案内をお渡しいたします。

II 講演に関するお願い

1. 口頭発表者の方へ

シンポジウム：発表時間20 分（発表15 分・質疑応答5 分）

一般口頭演題：発表時間10 分（発表5 分・質疑応答5 分）

※一般ポスター演題はございません。

2. 使用アプリケーション

アプリケーションはPowerPoint 2003もしくは、2007 (WindowsXP・Windows Vista) に限ります。

他のバージョンで作成されたデータは、表示に不具合が生じる可能性があります。バージョンの問題で生じた不具合については自己責任となります。

使用フォントについて：フォントは特殊なものではなく、PowerPoint に設定されている 標準
フォントをご使用ください。

3. 発表データの受付方法

ご自分の発表するプログラム、シンポジウムの1時間前までに「スライド受付」へCD-R もしくはUSB メモリースティックにて保存してお持ちください。また、ファイル名はお名前とご所属として下さい。

尚、コピーさせていただいたデータにつきましては、学会終了後に主催者側が責任を持って消去致します。

《全体プログラム》

第1日目 5月21日(土)	
8:00～9:00	受付
9:00～9:05	開会の辞
9:05～10:35	シンポジウムⅠ「スポーツにおける疲労－酸素と疲労－」 座長:川原 貴・小林 裕幸
10:40～12:10	シンポジウムⅡ「疲労・慢性疲労のメカニズム」 座長:渡辺 恭良・近藤 一博
12:10～13:25	昼 食
13:25～14:25	優秀演題候補発表(口頭)
14:35～15:25	一般演題(口頭)
15:35～16:35	特別講演「遺伝子発現解析からみた慢性疲労症候群の病態」六反 一仁
16:45～18:00	市民公開講座 鼎談「疲労をめぐる」 夏樹静子(作家)・安藤明夫(中日新聞)・伴 信太郎

第2日目 5月22日(日)		
9:00～10:30	シンポジウムⅢ「慢性疲労症候群 up to date」 座長:倉恒 弘彦 ・ 三池 輝久	
10:40～11:40	一般演題(口頭)	
11:50～12:50	昼 食	
12:50～13:20	日本疲労学会総会・優秀演題賞授賞式	
13:20～13:50	報告「日常生活疲労の臨床評価ガイドライン」 渡辺 恭良	
14:00～15:00	教育講演「精神科からみた慢性疲労の病態」 近藤 三男	
15:10～16:40	シンポジウムⅣ「産業疲労の一次予防を 考える」 座長:城 憲秀	シンポジウムⅤ「疲労の集学的治療」 基調講演:伴 信太郎 座長:伴 信太郎・久保 千春
16:40	閉会の辞	

○理事会

5月20日(金) 17:00～19:00 名大病院中央診療棟3階会議室

○評議委員会

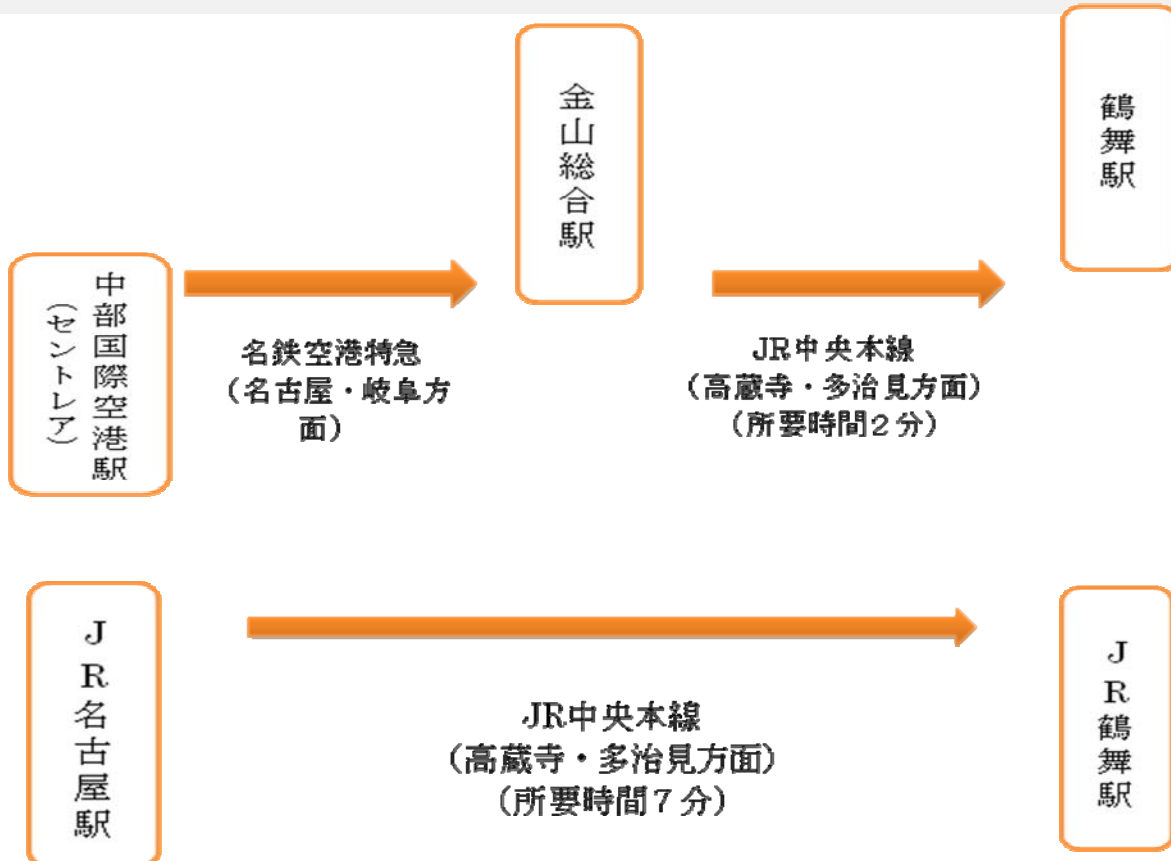
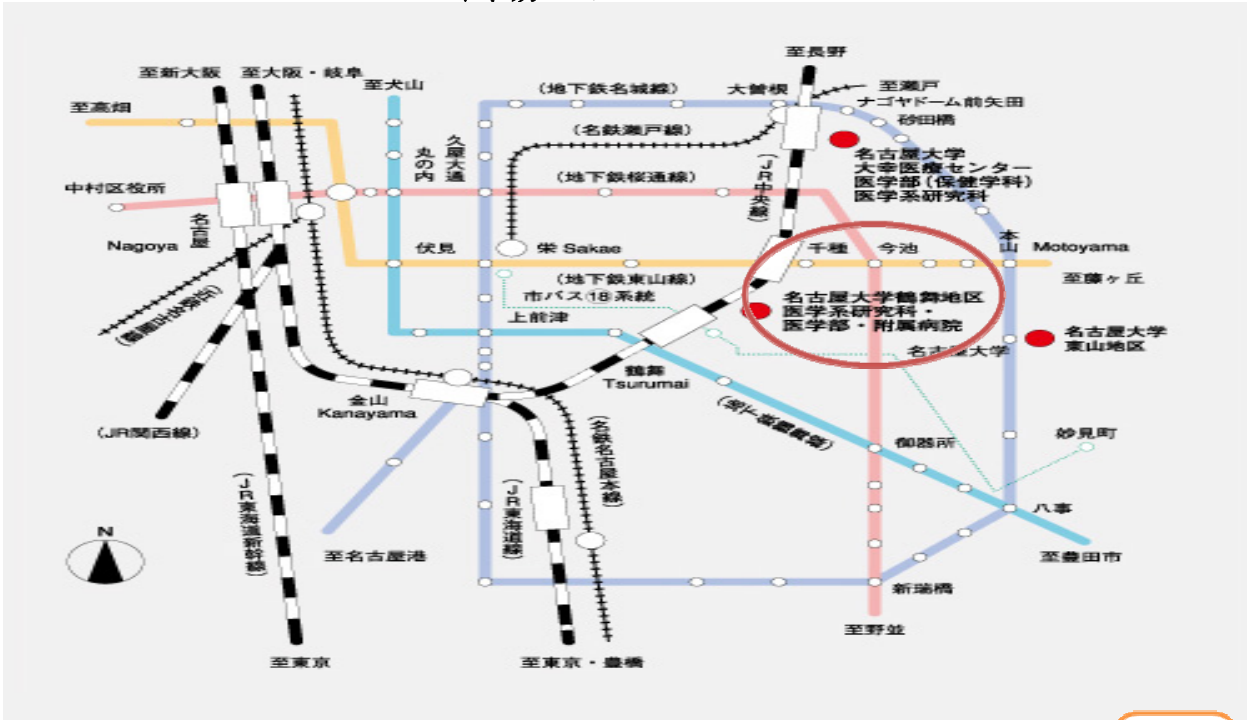
5月21日(土) 12:15～13:00 医学部基礎棟 第3講義室

○懇親会

5月21日(土) 18:30～ Café Sala

<http://cafesala.club.officelive.com/default.aspx>

会場アクセス

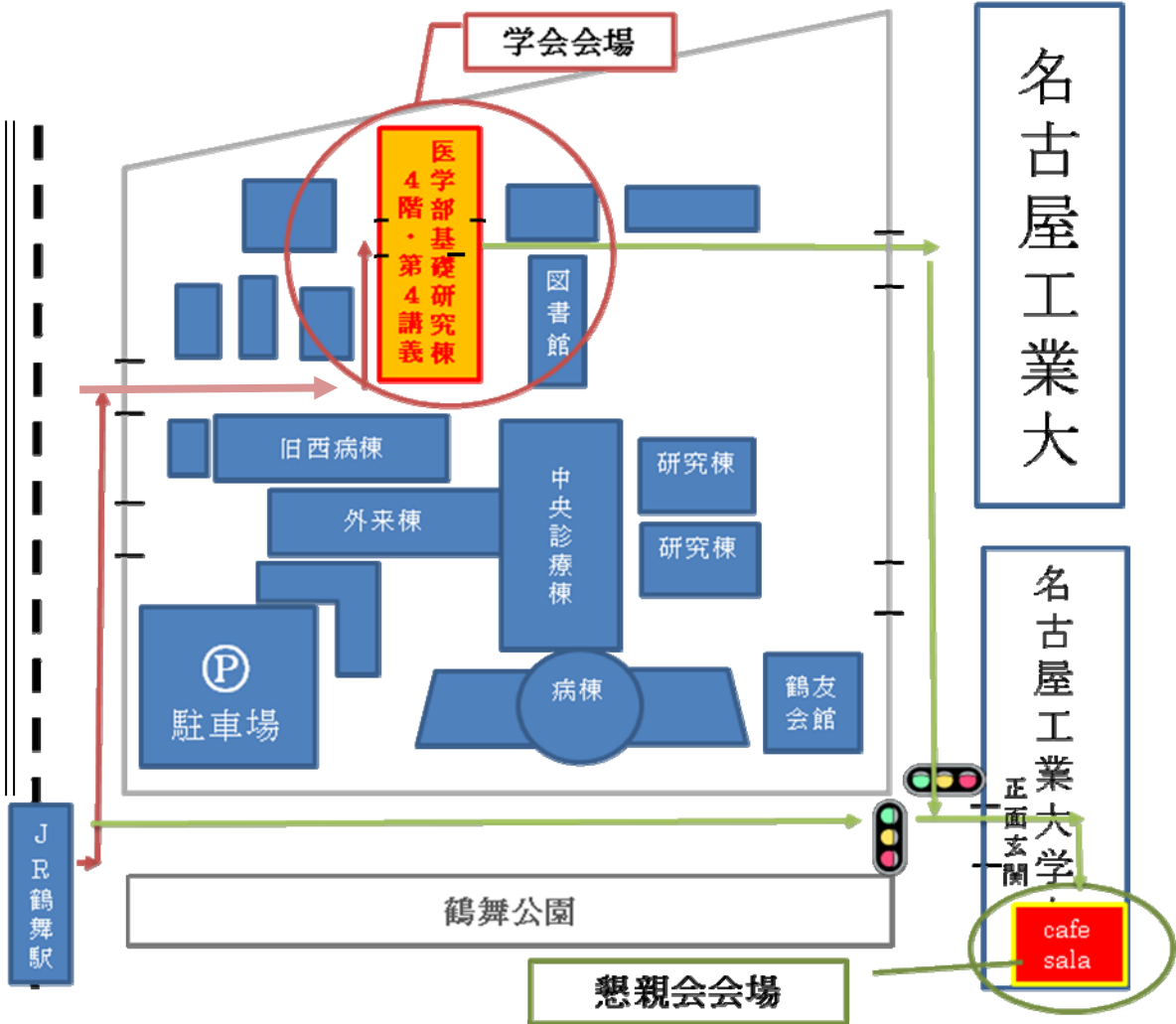


1. 徒歩3分 JR中央線・鶴舞駅 (名大病院口側) 下車
- 徒歩8分 2. 地下鉄 (鶴舞線) 鶴舞駅下車
3. 「名大病院」下車 市バス栄から栄18系統「妙見町」行き

所在地 ■医学部、医学系研究科 住所■名古屋市昭和区鶴舞町65番地

TEL : (052) 741-2111 FAX : (052) 744-2428 HP : <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/>

会場案内図



第7回日本疲労学会総会・学術集会プログラム

5月21日(土)

8:00～受付開始

時間 9:00～9:05 開会の辞

シンポジウムⅠ 「スポーツにおける疲労—酸素と疲労—」

時間 9:05～10:35

座長 川原 貴 (国立スポーツ科学センタースポーツ医学研究部)

座長 小林 裕幸 (筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター)

S1-1 「低酸素環境が競技選手の睡眠の質に及ぼす影響」

星川 雅子 (国立スポーツ科学センター)

S1-2 「低酸素と疲労」

内藤 久士 (順天堂大学大学院)

S1-3 「高強度運動に対する高酸素気吸入の効果」

高橋 淳一郎 (至学館大学)

S1-4 「疲労回復および障害予防のための高酸素環境利用と効果」

内丸 仁 (仙台大学)

シンポジウムⅡ 「疲労・慢性疲労のメカニズム」

時間 10:40～12:10

座長 渡辺 恭良 (理化学研究所分子イメージング科学センター)

座長 近藤 一博 (東京慈恵会医科大学ウイルス学講座)

S2-1 「ヘルペスウイルス再活性化と疲労シグナル伝達経路の研究による、疲労病態の把握」

近藤 一博 (東京慈恵会医科大学ウイルス学講座)

S2-2 「過労・慢性ストレス・慢性疲労症候群と内分泌系破綻」

木山 博資 (名古屋大学大学院医学系研究科機能細胞学解剖学第二)

S2-3 「小児慢性疲労症候群の脳機能低下のメカニズム」

水野 敬 (理化学研究所)

S2-4 「脳磁図解析により新しく発見した疲労の神経メカニズム」

田中 雅彰（大阪市立大学大学院医学研究科）

優秀演題賞候補発表

時間 13：25～14：25

座長 木谷 照夫（市立堺市民病院）

下光 輝一（東京医科大学公衆衛生学講座）

NP1 「脳磁図による疲労のミラーシステムの検討」

石井 聡（大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学）

NP2 「慢性疲労症候群患者と疲労モデル動物におけるメタボローム解析研究」

金 光華（理化学研究所 分子イメージング科学研究センター・細胞機能イメージング研究チーム）

NP3 「慢性疲労症候群における脳内ミクログリア活性化：PET研究」

中富 康仁（大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学）

NP4 「オルニチン摂取が疲労に及ぼす影響」

三宅 美加（キリンホールディングス（株））

NP5 「ウイルス感染疲労モデルにおけるIL-1・およびIL-1 receptor antagonistの関与」

大和 正典（理化学研究所分子イメージング科学研究センター・細胞機能イメージング研究チーム）

一般演題1（第4講義室）

時間 14：35～15：25

座長：尾上 浩隆（（独）理化学研究所分子イメージング研究プログラム）

梶本 修身（総合医科学研究所）

OP1-1 「慢性疲労症候群患者と健常者におけるGTP cyclohydrolase I 遺伝子多型の解析」

堀口 美恵子（大妻女子大学）

OP1-2 「運動後の筋肉痛および筋疲労感に対する分岐鎖アミノ酸（BCAA: branched-chain amino acids）

飲料摂取の効果」

佐藤 寿一（名古屋大学大学院医学系研究科総合診療医学分野）

OP1-3 「オルニチン経口摂取によるメンタルストレス負荷後の疲労感の変化」

青木 麻実（協和発酵バイオ（株））

OP1-4 「連続疲労負荷過程における血漿中の酸化ストレスバイオマーカーtHODEの変動」

原田 暢善（産業技術総合研究所）

一般演題2（第3講義室）

時間 14：35～15：25

座長：成田 正明（三重大学医学系研究科ゲノム再生医学講座）

斑目 健夫（東京女子医科大学青山自然医療研究所クリニック）

OP2-1 「健常人における疲労と睡眠の関連」

藤井 比佐子（大阪市立大学大学院医学研究科）

OP2-2 「小児慢性疲労病態に対する8週間の集約的睡眠覚醒リズム治療の治療成績」

田島 世貴（兵庫県立リハビリテーション中央病院 子どもの睡眠と発達医療センター）

OP2-3 「睡眠・覚醒リズムから見たCCFS予防の試み」

三池 輝久（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

OP2-4 「疲労克服研究活用による、就寝時エアコン気流制御技術の有用性評価」

白市 幸茂（シャープ株式会社）

特別講演

時間 15：35 ～ 16：35

演題 「遺伝子発現解析からみた慢性疲労症候群の病態」

座長 西城 卓也（名古屋大学医学部附属病院総合診療科）

演者 六反 一仁（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野）

市民公開講座

時間 16：45 ～ 18：00

演題 「疲労をめぐるって」

演者 夏樹静子（作家）・安藤明夫（中日新聞）・伴信太郎（名古屋大学）

5 月22 日 (日)

シンポジウムⅢ 「慢性疲労up to date」

時間 9 : 00 ~ 10 : 30

座長 倉恒 弘彦 (関西福祉科学大学健康福祉学部健康科学科)

三池 輝久 (兵庫県立リハビリテーションセンター中央病院)

S3-1 「慢性疲労症候群患者の疫学・臨症病態」

福田 早苗 (大阪市立大学大学院医学研究科疲労医学講座)

S3-2 「慢性疲労症候群における睡眠異常の検討と、新しい睡眠評価の試み」

田島 世貴 (兵庫県立総合リハビリテーションセンター中央病院子どもの睡眠と発達医療センター)

S3-3 「CFS患者のメタボローム解析」

片岡 洋祐 (理科学研究所)

S3-4 「CFSとXMRV感染症」

古田 里佳 (大阪府赤十字血液センター)

一般演題3 (第4講義室)

時間 10 : 40 ~ 11 : 40

座長 : 村上 正人 (日本大学医学部附属板橋病院心療内科)

松本 美富士 (藤田保健衛生大学医学部七栗サナトリウム内科)

OP3-1 「高機能性繊維インナー着用における快適感の心拍変動解析評価」

石原 世里奈 (共立女子大学家政学部)

OP3-2 「ラット過労モデルの自発行動に対する抑肝散の効果」

小川 登紀子 (大阪市立大学・医・機能細胞形態学)

OP3-3 「慢性疲労症候群に対する自律神経免疫治療の効果」

班目 健夫 (東京女子医科大学附属青山自然医療研究所クリニック)

OP3-4 「慢性疲労症候群 (CFS) のための認知行動療法プログラムの実践事例検討」

田中 愛 (名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻総合診療医学)

OP3-5 「慢性疲労患者の受療者からみた胃食道逆流症 (GERD) に基づいた食生活介入療法」

松原 英俊 (康生会武田病院 慢性疲労・FSS外来、医仁会武田総合病院 総合診療科)

一般演題4 (第3講義室)

時間 10:40 ~ 11:40

座長: 下村 登規夫 (国立病院機構さいがた病院神経内科)

三浦 一樹 (秋田赤十字病院)

OP4-1 「精神的ストレスに対する生体応答の個人差に関する神経基盤の検討」

山野 恵美 (大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学)

OP4-2 「歯科治療が自律神経機能に与える影響」

児玉 哲郎 (横浜国立大学 大学院工学府)

OP4-3 「大学生の疲労度と自律神経機能評価 ①保健室利用者と一般学生との比較」

大川 尚子 (関西福祉科学大学健康福祉学部)

OP4-4 「決定木モデルによる慢性疲労症候群の診断法設計」

西田 優 (横浜国立大学 大学院工学府)

OP4-5 「慢性疲労症候群患者における起立不耐症とスモールハートについて」

三羽 邦久 (ミワ内科クリニック)

OP4-6 「慢性疲労症候群患者にける起立試験時の自律神経機能について(ローレンツプロットを用いた評価法)」

山口 浩二 (大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学)

報告

時間 13:20~13:50

演題 「日常生活疲労の臨床評価ガイドライン」

演者 渡辺 恭良 (大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学)

教育講演

時間 15:10~16:40

演題 「精神科からみた慢性疲労の病態」

座長 橋本 信也 (特定非営利活動法人 医療教育情報センター)

演者 近藤 三男 (こんどうメンタルクリニック)

シンポジウムⅣ「産業疲労の一次予防を考える」

時間 15:10～16:40

座長 城 憲秀（中部大学）

S4-1 「疲労対策としての改善志向型作業条件チェックリスト研修科の有効性」

武山 英麿（東海学園大学）

S4-2 「チェックリスト研修で「共感」スパイラル・アップ」

茂原 治（財団法人 和歌山健康センター）

S4-3 「職場環境改善による労働者のメンタルヘルス不調第一次予防策グッドプラクティス」

吉川 徹（財団法人労働科学研究所）

シンポジウムⅤ 「疲労の集学的治療」

時間 15:10～16:40

座長 久保 千春（九州大学病院）

座長 伴 信太郎（名古屋大学）

基調講演「疲労の集学的治療：特に慢性疲労を訴える人へのアプローチ」

演者 伴 信太郎（名古屋大学）

S5-1 「慢性疲労症候群患者にみられたストレス性高体温反応：治療も含めて」

岡 孝和（九州大学大学院医学研究院心身医学）

S5-2 「慢性疲労症候群患者に対する漢方治療（第8報）-初診時の証と治療経過および治療効果との関係-」

胡 曉晨（名古屋大学医学部附属病院総合診療科）

S5-3 「慢性疲労症候群のための認知行動療法」プログラム開発」

藤江 里衣子（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）

S5-4 「疲労の回復は、復職支援デイケア利用者の復職を予測するか？ - 開始後5週目までの疲労の分析 - 」

野際 陽子（爽風会佐々木病院）

閉会の辞

時間 16:40 ～